

阿蘇草原再生がめ

阿蘇草原再生は下に示す3つの長期目標を掲げ、

長期的な目標

自然環境の保全・再生

地域ごとの特性に応じた多面的な取り組みにより、広大な草原景観の保全・修復を目指すと同時に、多様な草原タイプを維持します。再生にあたっては今残されている健全な生態系を壊すことなく、調査データにもとづき、ていねいな手順・方法で回復していきます。

農業・畜産業との両立

草原は、生産活動のための資源でもあり、草原再生のための事業と農業・畜産業との両立は不可欠です。草原の産業的利用が維持・増進されることにより、持続的な管理が成り立っていくことを目指します。

地域づくりへの貢献

草原再生を活用した観光や環境教育との連携、新産業の育成を進め、地域経済の活性化を図るとともに、地域文化の見直し、自信や誇りにつなげます。これらの総合的なとりくみにより、地域づくりに貢献し、地域の方々の参加による持続的な草原保全を目指します。

阿蘇草原再生のために、 例えばこんなことを考えています

阿蘇草原再生は、住民・NPOをはじめ多くの関係機関の参加・協働によりさまざまな事業を組み合わせ、長い時間をかけて実施していくものです。具体的にはこれから検討していきますが、想定される対策の数例を紹介します。

ほかに直接農業にかかわる事業や地域づくりにかかわる事業なども含めて、皆さんのご意見を聞きながら、対策を進めていきたいと考えています。草原再生に向けて行動するためのご提案をお待ちしています。

草原再生の提案 1

固有の湿地性植物、希少動植物の 生息・生育環境の保全・再生

保護措置の充実と多様性保全のための草原管理手法の開発・普及を進めます。また、希少な動植物の保護・増殖事業や維持管理手法などを実際に展示することにより、草原保全への理解を得ていきます。



サクラソウ



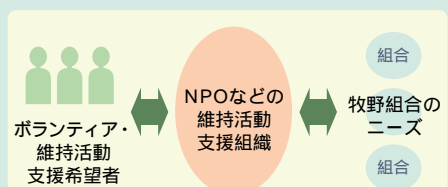
ハナシノブ

草原再生の提案 2

草原維持活動支援組織づくり

現在ボランティアにより行われている野焼き・輪地切り支援を他の作業にも拡大するとともに、維持活動支援希望者と牧野組合の希望をマッチングするしくみづくりについて検討します。

草原維持活動支援の組織化



ざすもの

4つの基本的考え方から進めていきます。

基本的な考え方

科学的データを
基礎とする
計画・事業の実施

草原保全と利活用
に関する新しい
方策の創出

多様な主体の
参画と連携

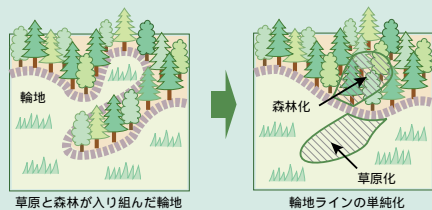
情報の
公開・共有と発信

草原再生の提案 3

草原と森林の境を単純化

草原と森林の境が入り組んでいる地区を対象に、一部を草原、一部を森林にして、境界を単純化することで、維持管理作業の負担を軽減するとともに、草原の再生につなげます。

土地利用整序による輪地延長の短縮

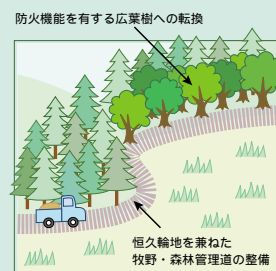


草原再生の提案 4

恒久防火帯や防火樹林帯の整備と トレッキングコースとしての活用

防火帯を兼ねた牧野・森林管理道を整備、併せてその周辺に休憩・展望施設などを整備し、トレッキングコースとしても活用します。

また、草原との境にある針葉樹を防火機能をもつ広葉樹へ転換することを検討します。



草原再生の提案 5

情報の公開・共有と発信

阿蘇の草原に関する情報を集め、地理情報システム(GIS)によりデータベース化します。ホームページの開設、パンフレット・ニュースレターの発行などにより、再生事業に関する情報を発信します。

また、草原再生活動に関する情報・交流拠点づくりを検討します。



草原再生の提案 6

草資源の利用促進

草資源の緑肥・堆肥としての利用を進めるとともに、建築材料やエネルギーとしての活用について調査を進めます。

